

【教育目標】 ふるさと野矢を愛し、他者と協力し、既習内容を活用しながら課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。

【重点目標】 ○基礎的・基本的な知識及び技能【知識及び技能の習得】
○他者と協力して課題解決に取り組む力【思考力、表現力、判断力の育成】
○主体的に取り組む力【学びに向かう力、人間性等の涵養】

評価(評価点)	基準	評価ランク
4	達成	平均100%(評価点4.0以上)
3	概ね達成	平均80%以上(評価点3.2以上)
2	やや未達成	平均60%以上(評価点2.4以上)
1	未達成	平均60%未満(評価点2.3以下)

重点目標	評価	達成指標	評価	重点的取組	取組指標	評価平均	評価者からの意見		
基礎的・基本的な知識及び技能 【知識及び技能の習得】	3	○1学期末の算数の単元テスト(思考力・判断力・表現力)において、期待平均値達成を75%以上 3学期 68%	4	○ドリルタイムにおいて、基礎基本の定着を図る。	○1週間に2回ドリルタイムの設定をする。うち1回は算数とする。	2.83	概ねよい。(各種テスト結果を見ながら)子どもたちは平均点を上げるという目標をもっているわけではなく、それぞれが自分なりの目標をもってテスト等に臨んでいると思われるので、個別に対応しそれぞれのがんばりを認めてあげてほしい。		
				○家庭での生活習慣の確立	○家庭は、その日の宿題が最後まで完了しているか確認をする。			3.33	学校と家庭の連携が不可欠である。本校は比較的連携がうまくいっている方だと思われるが、それに甘えることなくこれからも引き続き努力してほしい。
他者と協力して課題解決に取り組む力 【思考力、判断力、表現力の育成】	3	○児童アンケート「友だちと協力し、課題に最後まであきらめずに取り組んだ」において、平均を3.5以上 全校 3.5	3	○考え、伝え合う中で課題解決力を培う学習の推進	○授業者は、児童に自分の考えを整理させたうえで、グループや全体での話し合い活動の場を1日1回以上設定する。	2.83	少人数の学校だが、子どもたちが人前で発言したりすることを苦手としているのがやや心配である。一方で、子どもたちの文章読解力がきちんとついていることは素晴らしい。		
				○親子の会話の充実	○家庭はその日の出来事について子どもと毎日話をし、ほめる。			3.83	保護者どうしがきちんとつながっていれば、子どもどうしてトラブルがあった時もきちんと対応していけるので、そのつながりの下支えを学校がどのように築いていくか。
				○体験学習のゲストティーチャーとしての学習支援	○地域の方は、学校からの要請に基づいて、ゲストティーチャーとして各学年2回以上協力をする。			3.83	いろんな学習活動にゲストティーチャーが来ていて大変良い。
学びに向かう力、人間性等の涵養 【主体的に取り組む力の涵養】	3	○算数において進んで授業に取り組む児童の割合60%以上 2年 51% 3年 47% 4年 53% 5年 73% 6年 48% ○家庭生活で決められた役割を果たす児童の割合60%以上(新規) ○積極的に学校行事に参加する地域の方の人数1つの行事10人以上(新規)	3	○生活に結びつくような身近な課題設定について工夫する。	○月に1回、課題設定について研修を実施する。	2.17	子どもたちがより意欲的に学習に取り組んでいけるよう、学校も授業改善に取り組んでいてほしい。		
				○家庭でのお手伝いの推進	○家庭で決められた役割を自ら取り組めたか確認する。			2.67	時代の変化もあるが、学校がこうしたことにも力を入れていることを応援したい。今後の取り組みに期待したい。
				○各種行事への参加・参観	○地域の方は、各種行事に参加・参観を行い、児童の様子について感想用紙に記述する。				学校と地域についても比較的連携がうまくいっている。働き方改革を進めることで、教師の負担を減らしながら、教師の仕事を魅力あるものに変えてほしい。できることはこれからも協力したい。